

## 第527回IBC番組審議会

1.開催日時 平成20年1月22日(火)午前11時

2.開催場所 デジタルセンター3F Dホール

3.委員の出席

委員数	11名
出席委員	10名
出席委員の氏名	
委員長	田代 高章
副委員長	宮澤 徳雄
委員	伊藤 史典 大村友貴美
	河村 泰信 工藤 和彦
	熊谷志衣子 小林 英男
	小松 務 澤口たまみ

欠席委員の氏名 矢佐 俊幸

### 会社側出席者

阿部 正樹	代表取締役社長
川島 敬司	常務取締役
菅野 秀樹	取締役テレビ営業局長
柴田 継家	報道局長
川上 隆	ラジオセンター長
鎌田 英樹	テレビ編成局長

### 事務局

馬場由紀子	番組審議会事務局長
小笠原 勉	番組審議会事務局次長

4.議題 『年末年始のテレビ・ラジオ番組について』

## 5 . 議事の概要

### < 委員の主な発言 >

- ・「いわてホットライン」は普段見ることができないアナウンサーの意外な一面を見ることができ、毎年楽しみにしている番組のひとつです。
- ・中継地のアナウンサーが人気お笑い芸人の扮装で出演していたが、そこまでやる必要があるか疑問に感じた。
- ・日本放送文化大賞の受賞番組や「IBC特集」の再放送など、質の高いドキュメンタリー番組が多く編成され、改めて感動することができた。
- ・「新春歴史ミステリー 古代ローマ 1000 年史」は楽しんで見ることができた。歴史は事細かに並べ立てると堅苦しくなって重くなり、見ている人の頭の中に入ってこない。この番組はドラマチックですっと入ってくる構成になっており、ミステリーというかドラマを見ているような感覚で楽しむことができた。
- ・最近の大食い番組には割り切れないところがある。世界的に飢餓で苦しんでいる国もある中で、真面目に考えると食を粗末にしているとさえ思えることがある。見る側にも責任があるかもしれないが、果たしていいのかなと感じた正月でした。
- ・年末年始なのでバラエティ番組が多いのは仕方がない気はします。ドキュメンタリーや報道番組に力を入れ、地方局としての特色を出して行って欲しい。

### < 社側 >

- ・「いわてホットライン」は今年で 26 年目を迎えました。内容に関しては制作部がリードしながら考えますが、アナウンサー総出演ということもあるので、協議しながら 1 年のスタートなので明るくアピールすることを前提に制作しています。何人かの委員の方から一部行き過ぎではないかのご意見をいただきました。視聴者からは特段のクレームはいただいていませんが、来年に向けて関連セクションでもう一度検討したいと思います。
- ・IBC は今年 55 周年を期して、命を伝え、命を見つめるキャンペーンに取り組んでいます。命を大切にしなければふるさと賛歌はないとの思いから、自殺率が高い、交通死亡事故が多い、医療が行き届かない、そんな岩手を変えたいという思いからです。当然 1 年間だけのキャンペーンではなく、長い年月をかけて我々地方に生きる人たちの命を大切にしたいという思いで社員みんなで取り組んでいます。  
この一年、委員の皆さんの忌憚のないご意見をいただきながら、活動を続けて参りたいと思います。なにとぞ宜しくお願いいたします。